

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

5年生を対象に実施された全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果です。

本校の状況については、8種目の体力テストの成績の総計である体力合計点で見ると、男女いずれも全国平均を下回る結果となりました。

種目別に見ていくと、男子は2種目（上体起こし、立ち幅とび）、女子は3種目（上体起こし、長座体前屈、立ち幅とび）で帯広市や全国平均を上回りました。

体力の5つの要素とされている①「すばやさ」、②「動きを持続する能力（ねばり強さ）」③「タイミングの良さ」、④「力強さ」、⑤「体の柔らかさ」のバランスのとれた発達が望ましいのは勿論ですが、20mシャトルランなどで推測できる「動きを持続する能力（ねばり強さ）」に課題が見られる結果となりました。

開西小学校としては、今後も体育の授業のみならず、教育活動全体を通して児童の体力・運動能力の向上に努めてまいります。そのためにも児童の適切な運動量の確保を図っていきたいと考えています。

※ 体力・運動能力、運動習慣等に関する調査では、地域や学校によって、例えば、

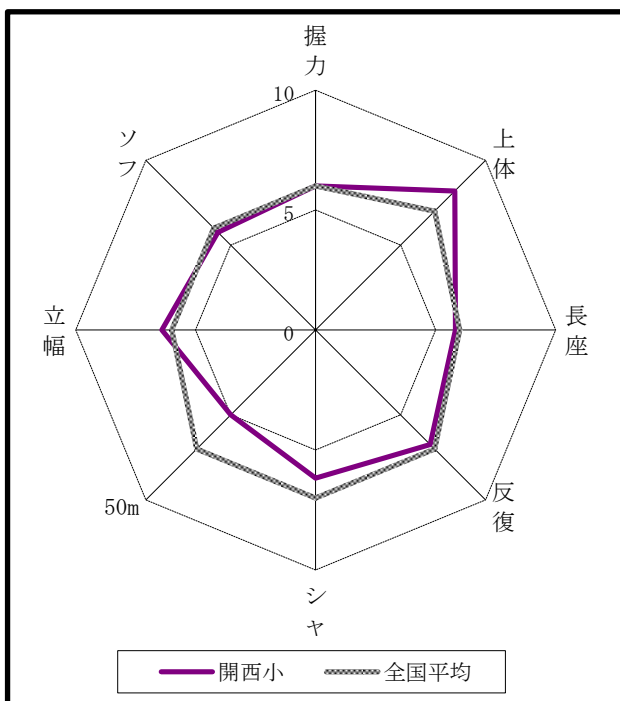
- ①実施時期に3ヶ月ほどの幅があること（本校の実態では6月～7月）
- ②実施の場所や条件が一定でないこと（体育館、グラウンド、廊下等）
- ③計測器具や、その器具を扱う指導者の力量や技術が異なること
- ④参加する児童の履物や服装が一定でないこと

など、学力に関する調査以上に「実施上の条件の差異」が見られることから、単に数値だけでは判断できないことを考慮する必要があることをご理解いただければ、と思います。

小学生の8種目

- ・ 握力
- ・ 長座体前屈
- ・ 20mシャトルラン
- ・ 立ち幅とび
- ・ 上体起こし
- ・ 反復横とび
- ・ 50m走
- ・ ソフトボール投げ

5年男子



5年女子

